

例会報告：2014年2月25日（曇り） 第1833回 通常例会

❖ ビジター

西川 武雄様（足柄RC）

❖ 結婚記念日

柳井 渉さん（2月25日）

内山 修一さん（3月1日）

金山 慶昭さん（3月1日）

❖ 奥様誕生日

小川 ゆり子さん（2月26日）

❖ ニコニコ箱

上田 博和委員

	ニコニコ箱	累計	目標
2月25日分	24,000	771,550	1,300,000

\* ビジター

西川 武雄様（足柄RC）…お世話になります。

\* 結婚記念日

内山 修一さん…結婚記念日のお祝い有難うございます。

柳井 渉さん…結婚記念日を祝っていただきありがとうございます。忘れていました。

金山 慶昭さん…結婚記念日のお祝いありがとうございます。

\* 奥様誕生日

小川 和夫さん…奥様誕生日のお花ありがとうございます。

\* その他

清 康夫さん…①2月22日、朝9時より夕方6時迄「フジミフェア」展示即売会を行い、バス13台とこの地域のお客様で合計約700名の方に参加頂き、無事に終わることが出来ました。②2月22日、夕方5時半より小学校3年生の同級会に参加、63年振りに行ったので初めは名前と顔がなかなか分からなかったが、3時間の中でようやく分かってきました。なによりも先生が88才でとても元気で参加してくれたので、少々。

菊地 義雄さん…明日から暖かくなります。私は旅に出ますので、次週は休みます。

三宅 常公さん…お久しぶりです。

小嶋 章司さん…地区の会員増強委員会で退会した元会員に会報を送っていたら、何人かが戻ってきてくれたというクラブがありました。考えてみましょう。

上田 博和さん…今日は荒井様におかれましては、相馬よりわざわざお越し頂き誠にありがとうございました。

■ ■ ■ 今後のメーキャップ情報 ■ ■ ■

- 2014年3月 -

▶5日(水) 小田原北 報徳会館 12:30  
「卓話:講師調整中・小田原城天守閣木造再建計画/計画の主旨や今後について」

▶6日(木) 小田原中 報徳会館 12:30  
「卓話:柴山 香奈様・光妙寺住職/テーマ未定」

▶7日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30  
「卓話:会員担当による卓話」

足柄 おんりーゆー 12:30  
「卓話:会員勉強会/  
担当:ニコニコ箱・クラブ研修」

▶10日(月) 小田原 報徳会館 12:30  
「卓話:歴代周年時会長/周年記念事業について」

▶11日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30  
「卓話:会員担当による卓話」

▶12日(水) 小田原北 報徳会館 12:30  
「卓話:山地 裕昭PG/  
ロータリークラブと仏教について」

▶13日(木) 小田原中 報徳会館 12:30  
「卓話:栗田 康宏様/小田原どん・小田原スイーツ」

▶14日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30  
「卓話:会員担当による卓話」

足柄 おんりーゆー 12:30  
「卓話:三浦敏幸会員(会長エレクト)/  
PETSを終えて」

▶17日(月) 小田原 報徳会館 12:30  
「卓話:高梨 吉則会員/未定」

▶18日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30  
「卓話:会員担当による卓話」

▶19日(水) 小田原北 報徳会館 M.U.受付なし  
「卓話:移動例会」

▶20日(木) 小田原中 報徳会館 12:30  
「卓話:脇田 恵信様/  
カンボジアの子供たちへの支援活動報告」

▶21日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 休会  
「卓話:」

足柄 おんりーゆー 休会  
「卓話:」

【小田原城北ロータリー・クラブ】  
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9  
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377  
URL：http://www.odawarajhrc.jp  
Mail：info@odawarajhrc.jp  
例会会場：小田原卸センター内会議室  
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日  
例会：毎週火曜日 12:30～13:30  
クラブ会報委員会  
監修：金山 慶昭  
編集長：久保田 知子  
コピーライター：大川 誠  
デザイン：小林 和彦  
フィールド：小川 和夫・志澤 昌彦

会員数：50名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780  
ODAWARA JOHOKU R.C.  
2013-2014  
WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】  
ロン D. バートン  
【R.I. 2780地区ガバナー】  
相澤 光春  
【第9グループガバナー補佐】  
井島 誠行



【会長】露木 清勝  
【副会長】須賀 俊和  
【幹事】金山 慶昭  
【副幹事】木村 頼弘  
【会場監督】杉崎 勝成

ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

本日の例会：通常例会（第1834回）

会場：小田原卸センター内会議室

日時：2014年3月4日 12:30～13:30

司会：木村 頼弘 副幹事

12:30	開会点鐘：露木 清勝会長 国歌斉唱 ロータリーソング斉唱 「奉仕の理想」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告/出席報告/委員会報告 同好会報告/ニコニコ箱
13:00	担当：露木 清勝会長 卓話：鈴木梯介小田原箱根商工会議所会頭 「卓話:商工会議所の方針について」
13:30	閉会点鐘：露木 清勝 会長

【今後の例会・卓話スケジュール】

3月11日 通常例会 12:30

担当：露木 清勝会長

卓話：北村 公一校長・神奈川県立西湘高等学校  
「卓話:未定/感謝状贈呈式」

3月18日 通常例会 12:30

担当：執行部

卓話：斎藤 永会長エレクト  
「卓話:PETS報告」

3月25日 通常例会 12:30

担当：柳井 渉新世代育成委員長

卓話：アビーゲデスさん・諏訪間 亮さん  
「卓話:未定」

4月1日 通常例会 12:30

担当：露木 清勝会長

卓話：高木 大輔様・報徳の森プロジェクト  
第二代会長・竹広林業（株）代表取締役社長  
「卓話:未定」



■ Abbyの日記

On Sunday I went to an onsen with Yuko, my host sister, and my host grandmother. It was really relaxing.(^^)

After we had okonomiyaki for lunch. It was my first time at a restaurant and it was really fun and delicious.(^^)

Monday I spent studying and writing my speech for Tuesday.

Tuesday was Rotary Club meeting.

Wednesday there was no school so I practiced my reading skills.

Thursday was only a half day for school.

Friday was a full day but the classes were short so school end an hour early. Saturday my host sister Yoko, her fiance, and his family came. Then we all went to the Fujiya hotel in Hakone for dinner. It was French style food and really delicious.(^^)v



# 例会報告：2014年2月25日（曇り）第1833回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室  
時間：12:30～13:30

## ◆ 会長挨拶



露木 清勝 会長

本日は、ロータリー財団への寄付をお願いしています。地区からの要請は通常の年次寄付200ドルに加え、本年度から3年間ポリオ撲滅推進への要請で40ドルが追加されています。この所の円安もあり、一人14,000

円という高額になっていますが、是非ご協力をお願い致します。一年前のPETSでは、地区の役員の皆様もエンド・ポリオ・ナウ、1～2年のうちにポリオの撲滅が達成されると声高々に言われていました。ただ、先日2月9日付の朝日新聞朝刊に、大変気になる記事が掲載されました。『対テロ戦、ポリオを招く』—世界で再流行の恐れも—という記事でした。内容は、パキスタンの反政府武装勢力が支配する地域でポリオが猛威をふるっているとの事でした。その理由として、「ワクチン接種を受けた子供は将来、不妊になる」という迷信が以前から広まっていたこと。そして、2011年米軍がパキスタンで実行したオサマ・ビンラディン容疑者の暗殺がこのことに更に拍車をかけました。この作戦の所在確認で肝炎のワクチン接種チームを装った地元医師らが同容疑者の潜伏先特定に重要な役割を果たしたことから、「予防接種＝スパイ活動」という誤ったイメージが広く定着してしまったことにあるようです。したがって昨年11月以降、ポリオ予防接種チームなどへの襲撃が12件もあり、17人の医療関係者、警護の警官らが死亡しているとのこと。このパキスタンのことに加え、中東シリアでも14年ぶりに感染が確認されたとの報道があります。せっかくあと一息というところまで押さえ込みながら、人為的な紛争によりまたポリオの再流行の恐れがあるということは大変残念であり、今後も懸念されるところです。エンド・ポリオ・ナウが現実となる日を我々も目指して、財団の支援をよろしくお願いいたします。

## ◆ 幹事報告



金山 慶昭 幹事

1)3月のロータリーレートは102円です。  
2)会員名簿作成を致します。前回2010年の作成時のデータをお渡しいたしますので修正箇所をご記入の上事務局までご提出ください。新しい会員の方は新規に記入をお願いいたします。締切日はありませんが早めをお願いいたします。会員名簿の形状は現在のロータリー手帳のサイズに併せて作成致します。

## ◆ 出席報告

大木 清 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
2月25日	50(47)	42	0	89.36%
2月18	50(46)	37	2	84.78%
2月4日	50(46)	40	1	91.3%

- 【欠席者】 5名  
大川 裕、松島 勝典、石内 正彦、石橋 徹、高橋 哲也
- 【今回MU】 0名
- 【前回MU】 増加なし
- 【前々回MU】 休会

## ◆ Table Flower

- 桃
  - シネンシス
  - チューリップ
  - 菜の花
- 桃の花言葉は「天下無敵」  
シネンシスの花言葉は「永遠の愛」  
チューリップの花言葉は「思いやり」  
菜の花の花言葉は「小さな幸せ」



## ◆ 卓話

「相馬市のその後について」

TVタックル出演者  
荒井 太蔵 様



福島県相馬市で日々活動しております。小田原城北RCさんには度々なるご支援、相馬市で51名いる遺児孤児のための基金をいただき心から感謝しています。

地震後、情報が入らず混乱を招く中で、いち早く消防団の方々が防災無線の情報を元に避難を勧めてくれました。しかし驕りの気持ちがあり「どうせ1～2mだろう」と思った人もたくさんいました。40分後に津波が来ると聞いたのですが、相馬市はそこから20分ほど遅れて津波が到達したのです。その20分間に帰宅された460名ほどの方々が命を落としました。

それから3日間はとにかく命を護るための活動をいたしました。沿岸部は車や瓦礫で通れない状況の中、会社のフォークリフトを持ってまず動線を作るために道を作りました。でも後から聞いた話だと勝手にやってはダメで、警察や自衛隊と一緒に確認しながらやるべきだったそうです。3日間は保存のきく食料を集めることと人命救助に徹しました。その後は避難所に行かれた方の安否確認に走り回りました。

相馬市の現状です。総務省の方に「相馬市は一番復興の早い街だ」と言われました。市長の判断が迅速だったせいもあると思います。原発が爆発した12日夜9時には大至急避難するように言われましたが、相馬市長は医師でもあり放射線の知識もあったので、空間線量を計り、まだ大丈夫だと。夜に避難勧告を出して起こるパニックの方が危険だと判断したのです。南相馬市はすぐに動いたために、大変なパニック状態になってしまいました。相馬市民は知らないまま留まっております、それが意味幸いでした。

当時我が社も20名ほど社員がいましたが、皆が仕事を続けてくれたことを感謝しています。私はJCの役員を受ける時に、会社を空けることも多くなると思い、社員一人一人に決定権を与えることにしました。自分たちで学んで会社を動かしてくれるようになったのです。それが幸いして、支援に対する恩返しボランティア活動が続けることができました。

相馬市では今、仮設住宅で今までにないコミュニティが出来あがってきています。孤独死を防ぐために必ず戸長を設けて、情報が上にあがってくる仕組みを作りました。コミュニティサロンを設けて情報が集約されるように、一日一食は皆と一緒に食事を取るように、入居者の健康管理とコミュニケーションを図っています。災害復興支援住宅は「長屋」を意識し、1棟に12世帯が入居しています。共有の食堂や戸別住宅も同じコミュニティ内に作っています。比較的、相馬市は落ち着いてきました。

原子力発電所の問題で一番懸念されるのが子どもの健康面です。実際症状が出てくるのはまだ2～3年後と言われていまずので、体内被曝している子どもがおそらく出てくるだろうという不安を抱えて生活しています。

帰還困難区域の南相馬市や双葉郡の子どもたちはコミュニティがバラバラになっていて、そこが非常に問題視されています。人間的繋がりが崩壊しつつあるのも事実です。これから自分たちがどこまで繋がりを維持していけるか、感情論になってしまっていて上手くいかないこともあります。大きな課題です。

福島県沿岸部は宮城県や岩手県と違って四次災害もありました。現状の取り組みと課題です。人命救助に始まり、安否確認、道路の確保や瓦礫の撤去をしてきました。大手企業に機材を借り、1年半で瓦礫はほぼ片付けられました。支援物資の調達も、受け口は一か所にして、米はこの倉庫、水はここ、と分けて備蓄しました。これが功を奏して無駄を出さずに済みました。今は優先順位をつけ、食べる・住む・観光誘客・学ぶ・再生エネルギーと大きく5つに絞っています。食に関してはまず風評被害の払拭に取り組んでいます。廃業する生産者がとても多くて、何とか救済したい思いで始めました。単なる生産だけでなく付加価値を付けるために色々な加工業者をお願いして販路開拓をしています。首都圏の飲食店への販売やマルシェ開催などを地道に続け、自分たちで放射能測定器を購入し検査して、安全なものだけを流通させています。また、有名シェフやパティシエの方の協力でレシピ開発もしていただきました。

子どもたちは外遊びができないので、離れた場所に連れて行って自然と遊べる機会を作っています。色々な方に助けていただいて企画を立てています。原発問題で若者の流出と雇用縮小は否めません。それをどうしていくのか、できれば原子力発電の研究機関を私たちの地域に作って欲しいと思います。一つの指標としてそういう施設を望みます。

新しい暮らし方として、エネルギーの自給自足をしているドイツの村へ視察に行きました。エネルギーから衣食住全て自分たちで作り出す生活に、そういうやり方も必要かと勉強になりました。現在は市民自身が色々模索し話し合いするように幾つかのコミュニティを立ち上げました。仮設住宅の方が早くきちんとした家で暮らせるように、安価に建てられる住宅モデルも作っています。新エネルギーも含め、医療介護施設や農地も共有できるような集合住宅の案も出ています。若い学生にも参加してもらって新しい発想を得ました。皆さんも若者との交流の場を持っていただくと面白い話ができると思います。

福島のものを買っていただく、福島に来てくださる、これが一番嬉しいことです。実際にご自分の目で見て感じたことを周りに伝えていただけたら有り難いです。これからもご支援をよろしくお願いいたします。




**RAC**  
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！